

Seating System

マイバディ バックサポート・ディープ MB03140



取扱説明書

このたびは「バックサポート・ディープ」をお買い上げいただき、ありがとう御座います。
この取扱説明書には「バックサポート・ディープ」を安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。正しくご使用いただくために、必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるように大切に保管して下さい。
お買い上げの製品は、改良のため一部においてこの取扱説明書と異なる場合があります。
ご不明な点がございましたら、販売店もしくは直接弊社までお問い合わせ下さい。

マイバディ シーティングシステムは、優れたシーティングに適した座クッションを使用する事で、効果を発揮します。ご使用の際は、必ず優れたシーティングに適した座クッションを使用下さい。

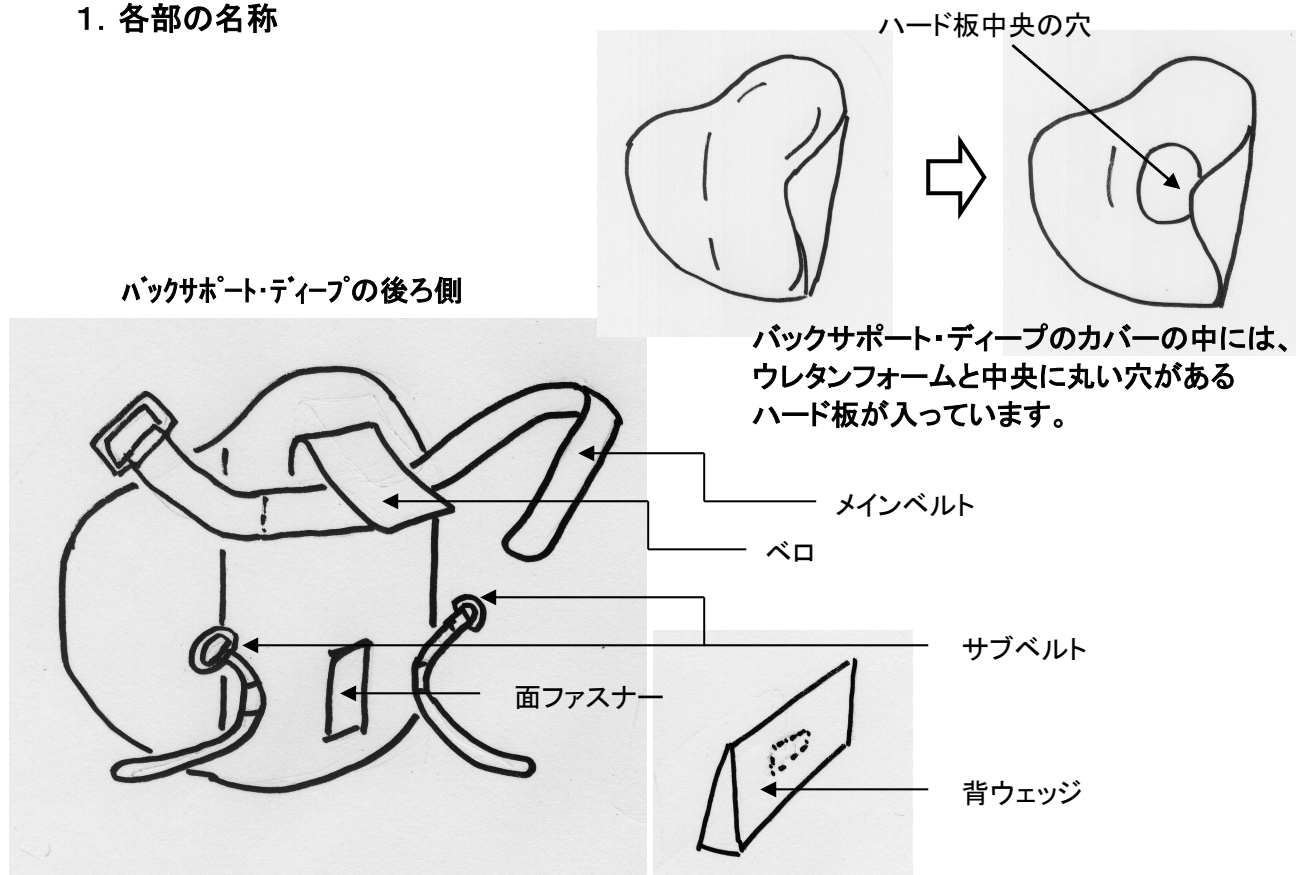


御注意

使用目的

本製品は、普通型車いす上で、ご使用者の体幹を保持する目的で開発されました。それ以外の目的でのご使用はお辞め下さい。本製品は、座位補助具です。シーティングに詳しいセラピストや取り扱い会社にご相談の上、取り扱いや調節方法を覚えてからご使用下さい。

1. 各部の名称



2. 車いすへの取り付け方法

取り付ける前に、すべてのベルトを外してください。

① 適用する車いす

「バックサポート・ディープ」は横幅38～43cmの車いすに取り付けできます。ご使用者の車いすの横幅を確認して下さい。

② 「メインベルト」の固定

車いすの背シートに上下を間違えないように「バックサポート・ディープ」を置き、両サイドから背シートの裏側にメインベルトを回し、「メインベルト」を面ファスナーでしっかり固定して下さい。

③ 「ベロ」の固定

「バックサポート・ディープ」の高さを、ご使用者に合わせて高さを決めて、「ベロ」を「メインベルト」の面ファスナーに固定して下さい。

④ 「サブベルト」の固定

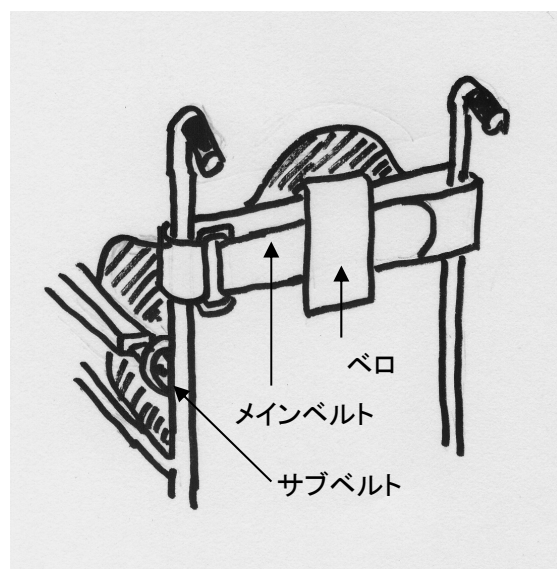
両サイドのアームサポートのパイプに、「サブベルト」を面ファスナーで固定します。

⑤ 背ウェッジの固定

円背(えんぱい)があり、骨盤が後傾されている方は、「背ウェッジ」を「バックサポート・ディープ」と背シートの間に面ファスナーで固定して下さい。より広い面積でサポートが出来ます。

骨盤の可動域があり、起せる方は「背ウェッジ」を使用しないで下さい。

取り付け方法



3. バックサポート・ディープの調整方法

① 調節する前に

「バックサポート・ディープ」を取り付ける前に、ご使用者の車いす上での姿勢を観察して下さい。そして、作業者の両手で、やさしくご使用者の体側面を支えてください。ご使用者が快適と思われる作業者の両手で支える位置を探してください。そして、位置が決まりましたら作業者の両手の位置に「バックサポート・ディープ」の側面の中央が来るようにセットして下さい。

② ベルト類の長さ調節

「メインベルト」「ペロ」「サブベルト」のベルトの長さは調節が出来ます。ご使用者のサポートが必要な位置にそれぞれの長さを調節して下さい。

③ 体側部は、とてもデリケートです。幅の狭いパッドなどでサポートをすると危険です。なるべく広い面積でサポートできるようにセットして下さい。

【調整上のご注意】

「バックサポート・ディープ」が、脇の下に当たらないように固定して下さい。脇の下には、重要な神経が集まっています。強く圧迫されますと、2次障害の危険があります。

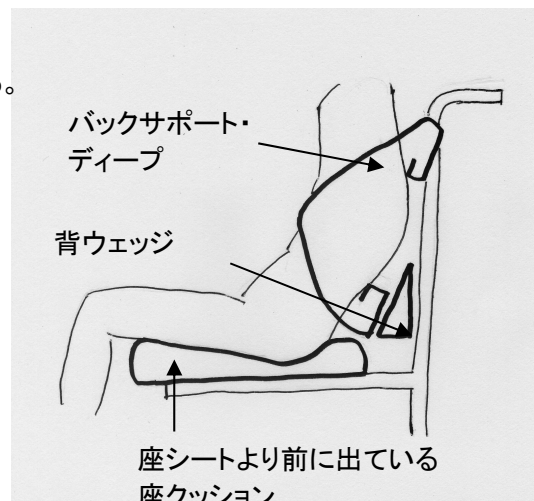
※ 円背(えんぱい)の方の調節方法

① 「ハード板」の穴をご使用者の背中の突部に合わせる。
「バックサポート・ディープ」の「ハード板」の中央には、丸い穴が開いています。円背の背中の突部の位置をこの丸い穴に合わせてセットして下さい。

② 「背ウェッジ」を取り付ける。

「バックサポート・ディープ」の裏面に付いている面ファスナーと背ウェッジの面ファスナーを合わせてしっかり固定して下さい。

骨盤の傾きと背ウェッジの角度が合わないときは、背ウェッジと車いすの背シートの上に厚みのあるものを差し込み、角度を合わせてください。



【調整上のご注意】

「バックサポート・ディープ」に背ウェッジを付けますと、座の奥行きが狭くなります。この時、座クッション（例：バリライト エボリューションなど）の底面にインサートパネルなどを敷き、車いすの座シートの先端より座クッションの前端を前方へ出すと、より身体の安定が良くなります。座クッションを車いすの先端より前に出す場合は、危険ですので必ず座クッションの底面と車いすの座シートを面ファスナーでしっかり固定して下さい。

4. お手入れの際のご注意

- 「バックサポート・ディープ」のカバーは、手洗いで洗濯できます。脱水機を使う場合は、必ず洗濯ネットに入れて下さい。決して、硬く絞ったり乾燥機を使わないで下さい。変形する危険があります。
- 脱水後は、日陰干して下さい。

5. リサイクルへのご協力

本製品は、リサイクル可能な素材を多く使用しています。本製品をご愛用されたのち廃棄される場合、当社にてリサイクルする事が出来ます。ご協力を頂ける場合は、当社へ先にご連絡頂き、リサイクル方法や引取り方法をご確認の上、お送り下さい。ご連絡無しにお送りいただいた場合、お受け取りできかねますので、ご注意ください。なお、販売店、レンタル店、病院、施設などの複数お扱いの場合、出入りのリサイクル会社へまとめて依頼された方が安くリサイクルできる場合が御座います。ご不明な点は、弊社へお問い合わせ下さい。

弊社では、大切な資源をリサイクルできればと願っています。リサイクルを長く進行するためには費用が掛かります。下記をお読みの上、ご協力をいただける場合、ご連絡下さい。

- ご使用後本製品を弊社へお送りいただく場合、衛生上カバーは外してからお送り下さい。カバーはご自身で廃棄してください。
- リサイクリ費用の一部をご負担頂きます。(数百円)
- 当社へ製品をお送りいただく場合、送料はお客様負担でお願いいたします。

株式会社ユーキ・トレーディング福祉機器事業部

〒110-0008 東京都台東区池之端 2-5-46

TEL03-3821-7331 FAX03-3821-7552

Info@yukitrading.com

www.yukitrading.com